

歴史を学ぶ意味を考え、表現する社会科授業づくり

新潟市立小針小学校
藤田 雄也（平成21年度）

平成29年版『小学校学習指導要領解説 社会編』第6学年の内容の取扱い(2)イ(ア)には「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。」と記述されている。また、歴史を学ぶ意味を考えることは、第6学年の目標である「我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を育てる」ことにつながるとされている。このことから、児童が歴史を学ぶ意味を考えることは、第6学年の社会科で身に付けるべき資質・能力を育成するうえで欠かせないと考える。

しかし、これまでの私の実践では、児童に歴史を学ぶ意味を考えさせることができていなかった。

そこで、本実践では、歴史を学ぶ意味を考えることを「過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連を考えること」と捉え、児童が歴史を学ぶ意味を考え、表現することのできる社会科授業づくりを目指した。